

Summit Client Utility の使用方法

Summit Client Utility (SCU) は Summit 無線モジュールを使用するモバイルデバイスのエンドユーザと管理者のために設計されたアプリケーションです。SCU を使用して、エンドユーザは以下のことを行うことができます。

- 無線をオフにする、あるいは無線をオンにします。
- 設定プロファイルの内容を表示します。設定プロファイルは無線の設定、セキュリティ情報等が含まれます。
- 無線 LAN に接続するために使用する設定を選択します。
- 各設定に適用されているグローバル設定を表示します。
- 無線、アクセスポイント、あるいは接続されている WLAN ルータ、無線接続またはリンクのステータス情報を表示します。
- 接続または性能についてのトラブルを解決するために、接続と無線についての診断情報を表示し、各種のトラブル処理と診断テストを実行します。

ユーティリティの管理者モードにログインした後で、ユーザは以下を実行することができます。

- 設定ファイルの作成、改名、編集と削除
- 各設定ファイルに適用するグローバル設定

SCU はその機能の全てにアクセスするためのグラフィックユーザインターフェース (GUI) を持っています。

SCUの初期化方法:

- スタートメニューからプログラムを選択します。
- Summit ディレクトリを選択します。
- Summit ディレクトリには二つの項目があります: セキュリティ認証を保存するディレクトリと SCU アイコンです。SCU を実行するには、SCU アイコンをダブルタップします。

SCU は5つのウィンドウ: Main、Config、Global Settings、Status、そして Diags があります。タブは図 1 の上部に示されています。各ウィンドウを簡単に切り替えることができます。各ウィンドウは以下のセクションで詳しく説明しています。

Main ウィンドウ

図 1 は、Main ウィンドウの例です。以下の項目があります。

1. **管理者ログイン・ログアウト:** 管理者として SCU にログインするには、“Admin Login” が表示されているときにこのボタンをタップし、ダイアログボックスに管理者パスワードを与えます。パスワードの標準値は英大文字で “SUMMIT” です。(パスワードは Global Settings ウィンドウの Admin Password 機能で変更することができます。) 管理者モードにログインしたら、管理者をログアウトするためにこのボタンをタップしてエンドユーザの機能のみにアクセスできるようにします。
2. **無線のオン・オフ:** 無線がオンの場合、このボタンをタップしてオフにします。無線がオフの場合、このボタンをタップしてオンにします。

3. **使用中の設定ファイル:** ユーザは、使用されている設定ファイル名を見ることができます。管理者は別な設定を選択するために選択リストを使用することができます。
“ThirdPartyConfig” が選択された場合、デバイスの電源がオフ・オンされた後で、WZC が無線の設定として使用されます。
4. **接続状態:** 無線がアクセスポイントと接続されているかどうかを示します。そうでなければ、無線の状態を示します。

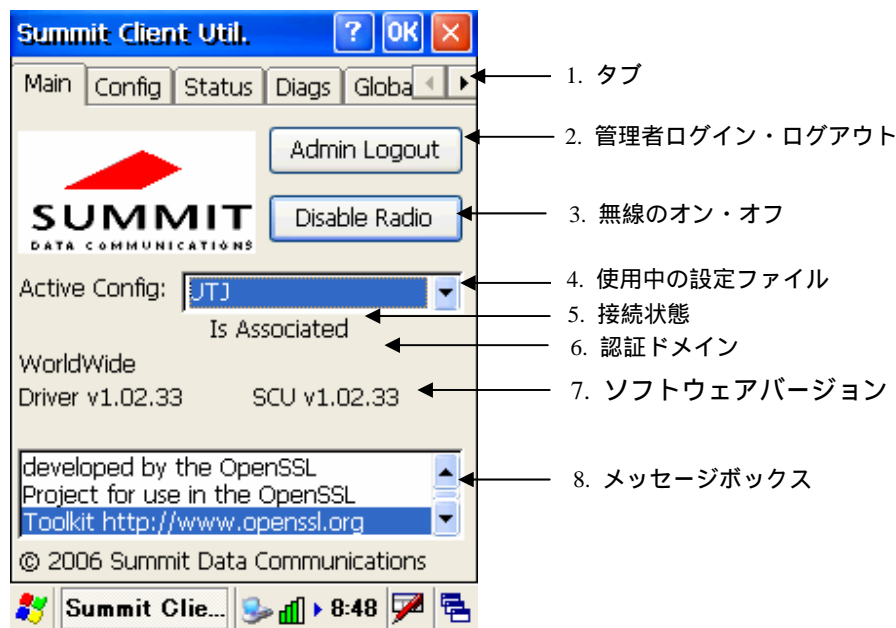


図 1: Main ウィンドウ

5. **認証ドメイン:** 認証ドメインまたは無線が設定されているドメインを示します。
“Worldwide” は無線がどのドメインでも使用できることを意味します。ドメインは管理者あるいはユーザによって設定することができません。
6. **ソフトウェアバージョン:** デバイスドライバとデバイスで実行している SCU のバージョンを表示します。
7. **メッセージボックス:** Windows アプリケーションが通常表示する SCU の情報を表示します。

Config ウィンドウ

Config 設定は、無線とセキュリティについての設定を行い、設定プロファイルとしてレジストリに保存されます。メインウィンドウで、選択された設定ファイルがアクティブになります。管理者は 20 以内の設定ファイルを定義、編集、そして削除を DCU の Config ウィンドウで行うことができます。ウィンドウで行われた設定変更は、Commit ボタンが押された場合にのみ設定ファイルに保存されます。

図 2 は Config ウィンドウの例です。以下の項目があります。

- **Config:** 設定ファイルの表示、または管理者の場合、編集するために選択します。
“ThirdPartyConfig” が選択された場合、電源のオフ・オンが行われた後で、WZC が無線の設定に対して使用されます。
- **アクション:** 管理者に 4 つのアクションがあります。
 - Rename: 設定ファイルの名前を変更します。
 - Delete: アクティブになっていない設定ファイルを消去します。
 - New: 標準設定で新しい設定ファイルを作成します。名前を付けます。(そして、ウィンドウで各選択を使用して設定を変更します。)
 - Commit: ウィンドウで行った設定変更を保存します。

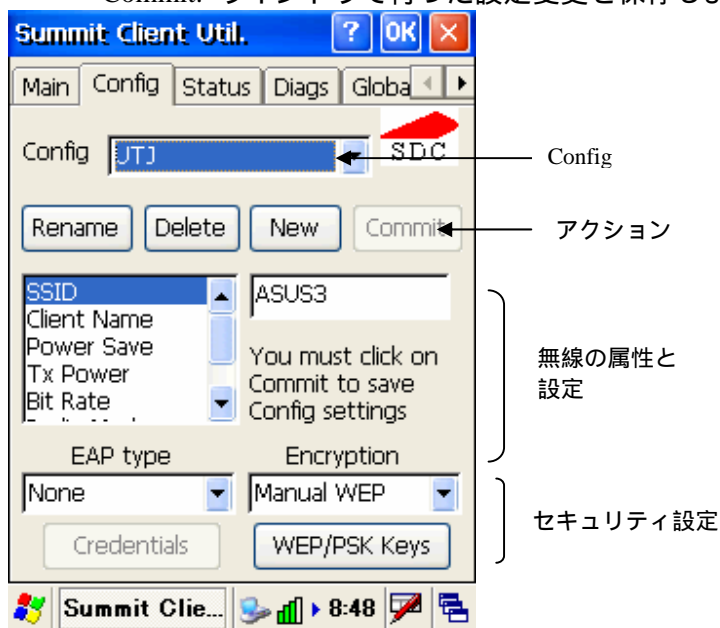


図 2: Config ウィンドウ

- **無線の属性と設定:** リストボックスの属性は、個々に選択することができます。属性が選択されたら、現在の設定もしくは現在の設定をハイライトした選択ボックスが右に現れます。例えば、SSID を選択すると編集ボックスが現れ、送信電力の選択は使用可能な設定を持つドロップダウンリストボックスを表示します。
- **セキュリティ設定:** ウィンドウの下部にある項目は、管理者が EAP タイプ (802.1X 認証の使用) と暗号の設定をすることができます。

Summit 無線 LAN を一般的な業務用 WLAN に接続する場合、SSID の指定、EAP タイプ、そして無線 LAN でサポートされている暗号タイプの選択をしなければなりません。

- SSID: 無線 LAN の名前
- EAP type: デバイスの認証に使用されるプロトコル、そしてユーザが WLAN の Wi-Fi Protected Access (WPA) と WPA2 のエンタープライズバージョンを使用する場合。SCU は 4 つの EAP タイプ: PEAP with EAP-MSCHAP (PEAP-MSCHAP)、PEAP with EAP-GTC (PEAP-GTC)、LEAP、そして EAP-FAST をサポートします。

- 暗号: 送信するデータの暗号化と解読に使用するキーのタイプとキーの指定あるいは得る方法を指定します。暗号化オプションは以下を含んでいます。
 - WPA2 または WPA ダイナミックキー付き (EAP 認証プロセスから得る)
 - WPA2 または WPA 共有キー付き
 - 静的 WEP キー

Global Settings ウィンドウ

Global settings は以下を含んでいます:

- すべての設定ファイルに適用する無線とセキュリティ設定
- SCU 自身に適用する設定

管理者は SCU の Global Settings ウィンドウでほとんどのグローバル設定の定義と変更をすることができます。サンプルの Global Settings ウィンドウは図 3 の通りです。

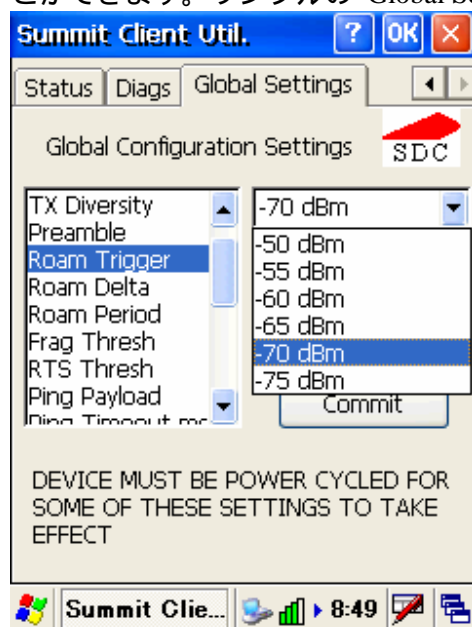


図 3: Global Settings ウィンドウ

各グローバル設定の標準値はほとんどの環境で信頼度の高い運用がなされるように設定されています。

Status ウィンドウ

Status ウィンドウは無線のステータス情報を提供します。ステータス項目には クライアント無線の IP アドレスと MAC アドレス、アクセスポイントの IP アドレスと MAC アドレス、信号強度、チャンネル、送信電力と通信速度が表示されます。サンプルの Status ウィンドウを図 4 に示します。

以下の項目があります:

1. クライアント情報: アクティブな設定の名称、クライアント名、クライアント IP アドレス、クライアント MAC アドレス
2. アクセスポイント情報: アクセスポイント名、アクセスポイント IP アドレス、アクセスポイント MAC アドレス
3. 信号強度: グラフと数値で信号強度を表示
4. 接続情報: チャンネル、送信電力、転送速度を表示

ステータス項目の一つにある接続状態(Is Associated to)は、Status ウィンドウと Main ウィンドウの両方に表示されます。表示される可能性のある値は、Down (not recognized)、Not Associated、Associated、あるいは [EAP type] Authenticated です。

いくつかの項目は Main ウィンドウに表示され、Status ウィンドウには表示されません。これらは以下の通りです。

- SCU ソフトウェアバージョン
- ドライバソフトウェアバージョン
- 無線の認証ドメイン: FCC、ETSI、TELEC、あるいは Worldwide

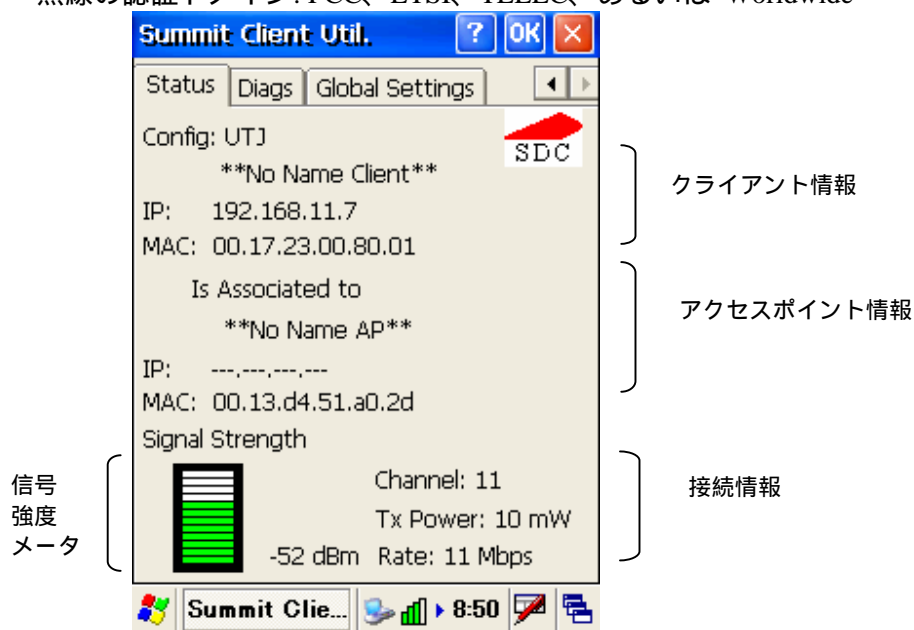


図 4: Status ウィンドウ

Diags ウィンドウ

Diags のサンプル、トラブル処理のウィンドウを図 5 に示します。

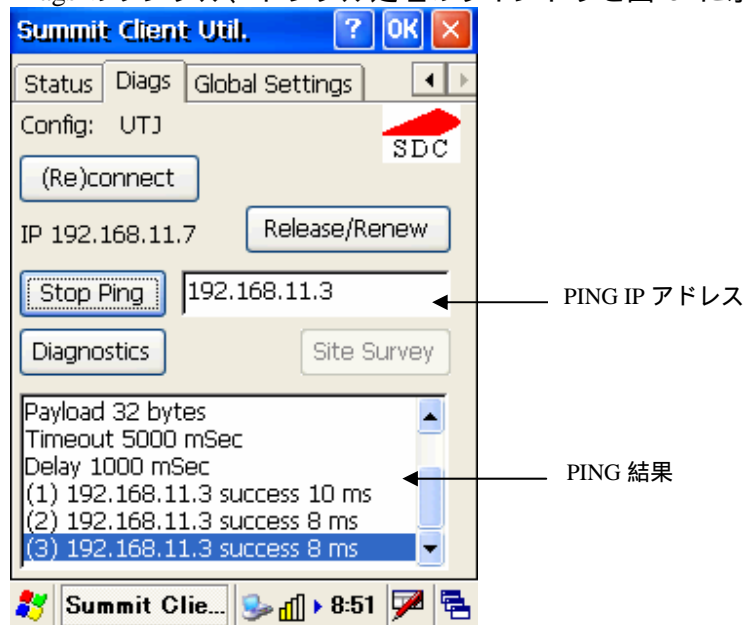


図 5: Diags ウィンドウ、Ping によるテスト

Diags ウィンドウには以下の機能があります。

- (Re)connect: 無線をオンまたはオフします。現在の設定を適用あるいは適用せず、そして無線 LAN に接続と認証を試み、下部の出力エリアにすべての動作を記録します。
- Release/Renew: DHCP を通して新しい IP アドレスを得ます。下部の出力エリアにすべての動作を記録します。
- Start Ping/Stop Ping: 右の編集ボックスに入れられた IP アドレスに連続して Ping を行います。ボタンがタップされたら、ボタンの名前と機能は Stop Ping(Ping 終了)に変わります。Diags ウィンドウを出たり、スクリーンの他のボタンを押すと Ping も終了します。
- Diagnostics: アクセスポイントへの接続を試み、(Re)connect で得られるより多くのデータを提供します。データは無線の状態、設定、グローバル設定とアクセスポイントの BSSID リストを含みます。